

修学旅行

3年生は、平成29年6月7日(水)～9日(金)にかけて、東京方面への修学旅行に無事行ってきました。

東京において、1日目コース別、2日目班別、3日クラス別と様々な体験と思い出を作り出してきました。

天候にも恵まれ、順調にプログラムが進行しました。東京で、さわやか明中生の風を吹かせてきました。

スローガン「本気の本気!! ～不可能という言葉はない～」のもと、「東京での体験、人々の交流を通して、見分を広め、自然や文化などに親しむ」「集団生活を通して、集団の中での自己のあり方や公衆道徳などについて望まして態度を育てる」「仲間との親睦を図り、学年や学級の団結を強める」を目的として活動しました。

■以下に、活動の様子をスナップ写真でお伝えします。素晴らしい思い出が作られた時間だったと思います。













■コース別研修の感想を一部紹介します。

【文化コース 杉並アニメーションミュージアム】

世界や日本のアニメの歴史を学んだり、実際にパラパラアニメを作ったりする体験をしました。パラパラアニメ体験では、1秒で18枚の絵を描かなければならないので、大変だと思っていました。しかし、アニメを作っている人は、もっとたくさんの絵を描いているという苦労も知ることができました。

【防災コース そなエリア東京】

「もし今、大地震が起きたら生き残れるか。」というテーマで、実際に体験しながら学ぶことができました。体験してみて、地震がきてから行動することはとても難しいと思いました。今後30年以内に70%の確率で大地震がくると言われています。冷静に判

断行動し、大切な人や自分自身を守ることができるようにしたいと思います。また、今のうちからできることを行い、大地震に備えたいです。

【自然体験コース】

自然体験コースで高尾山に登りました。

「まあ、楽勝でしょ」と思っていた私にとって、山頂を目指すことは、今までの甘えた考えを一変させる大きなきっかけとなりました。

「いくぞー! おー!!」と元気に出発した私たち四人組。天気は雨と予報されていたにも関わらず曇りとなり、天気は私たちに味方してくれているようでした。

初めの方はしゃべったり、笑いあったりと楽しく登っていましたが、だんだんと口数が減り、中間あたりではみんな疲れきってしまいました。なかなか見えてこない山頂にリタイアしたい気持ちが何度も湧きあがりました。しかし、その都度助けてくれたのは仲間でした。班の垣根を超え、別の班のリュックを押し合うこともしました。

ようやくたどり着いた山頂。達成感の三文字がぐっと押し寄せてきました。

私は今まであきらめることが多くありました。しかし、辛くて苦しくてもゴールは必ずある、そして、ゴールに向かうことは一人じゃないという思いをふらためて感じることができました。